

令和2年度法務省委託事業

震災と人権に関するシンポジウム

報 告 書

公益財団法人人権教育啓発推進センター

令和2年度法務省委託事業「震災と人権に関するシンポジウム」実施完了報告

1 実施概要

- (1) テーマ： 震災と人権に関するシンポジウム～避難所で必要とされる人権への配慮～
- (2) 日時： 令和3年1月31日（日）午後1時30分～午後3時30分
- (3) 形式： オンライン配信
人権ライブラリー・多目的スペース（公益財団法人人権教育啓発推進センター併設）をメイン会場として配信
※ 大阪・仙台・新潟をサテライト会場に同時中継
- (4) 対象者： 一般市民（事前申込制／先着順） ※ 参加費：無料
- (5) 主催： 法務省、全国人権擁護委員連合会、盛岡地方法務局、岩手県人権擁護委員連合会、仙台法務局、宮城県人権擁護委員連合会、福島地方法務局、福島県人権擁護委員連合会、神戸地方法務局、兵庫県人権擁護委員連合会、公益財団法人人権教育啓発推進センター
- (6) 後援： 内閣府政策統括官（防災担当）、中小企業庁、復興庁、岩手県、岩手県教育委員会、盛岡市、盛岡市教育委員会、岩手県市長会、岩手県町村会、宮城県、宮城県教育委員会、仙台市、仙台市教育委員会、宮城県市長会、宮城県町村会、福島県、福島県教育委員会、福島市、福島市教育委員会、福島県市長会、福島県町村会、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、兵庫県市長会、兵庫県町村会、公益財団法人兵庫県人権啓発協会、岩手日報社、河北新報社、福島民報社、神戸新聞社、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、日本経済新聞社、中日新聞社、（順不同）
- (7) 内容： ● 開会～主催者挨拶
● シンポジウム
第1部 基調報告 「避難所で必要とされる人権への配慮」
○報告者
・田村太郎（一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事）
・田脇正一（仙台市危機管理室参事兼防災計画課長）
・榛沢和彦（新潟大学医歯学系先進血管病・塞栓症治療・予防講座特任教授）
・吉水岳彦（浄土宗光照院住職、ひとさじの会事務局長）
○コーディネーター
・藪本雅子（フリーアナウンサー、記者）
第2部 パネルディスカッション
○パネリスト
・上記報告者4名
・はるな愛（タレント、歌手、俳優、映画監督、実業家）
○コーディネーター
・藪本雅子（フリーアナウンサー、記者）

2 目的

東日本大震災や阪神・淡路大震災での教訓を踏まえ、震災を始めとした様々な災害時に、避難所生活の中で起こりうる様々な人権に関する問題や、被災者支援や避難所運営の在り方をテーマとしてシンポジウム等を開催することで、広く国民へ人権尊重思想の普及高揚を図る。

3 参加者数等 (YouTube の分析情報による)

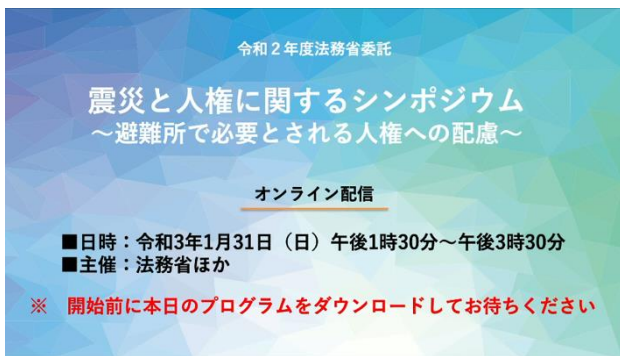
視聴回数：1, 6 6 6回

最大同時視聴者数：5 7 2人

ユニーク視聴者数：8 4 5人

(事前申込者7 1 3名)

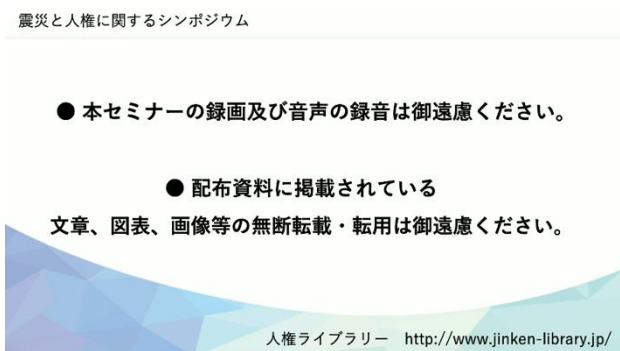
4 「震災と人権に関するシンポジウム」配信の様子 (画面イメージ)



ライブ配信前：案内1



ライブ配信前：案内2



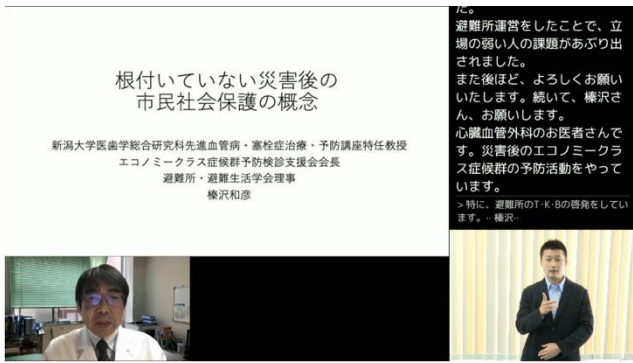
ライブ配信前：案内3



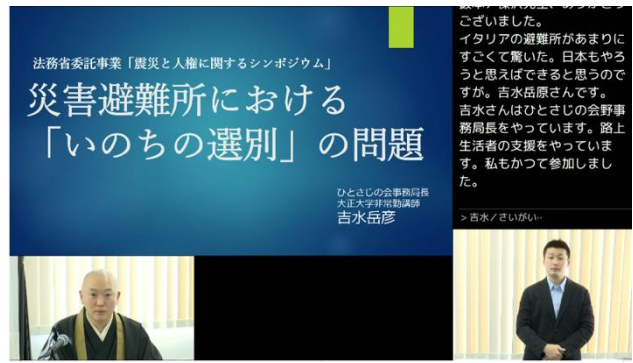
基調報告1：田村太郎 (一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事)



基調報告2：田脇正一 (仙台市危機管理室参事兼防災計画課長)



基調報告 3 : 榎沢和彦 (新潟大学医歯学系先進血管病・塞栓症治療・予防講座特任教授)



基調報告 4 : 吉水岳彦 (浄土宗光照院住職、ひとさじの会事務局長)



コーディネーター : 藪本雅子 (フリーアナウンサー、記者)



パネリスト : 是るな愛 (タレント、歌手、俳優、映画監督、実業家)

[参考資料]

- ・当日配布資料 (ダウンロード用プログラム)
- ・アンケート集計結果
- ・採録記事イメージ (令和3年3月11日読売新聞全国版朝刊掲載)